

国語科年間指導計画・評価計画（1年生）

	教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	朝のリレー	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)		【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	言葉に出会うために 野原はうたう	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)		【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) 【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 【態】進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。
5月	シンシュン	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
	情報を的確に聞き取る	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	【態】進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
	季節のしおり 春	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	情報整理のレッスン(比較・分類)	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。

	漢字の組み立てと部首	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	ダイコンは大きな根？	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	【態】文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
	ちょっと立ち止まって	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	思考のレッスン1(意見と根)	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)		【態】学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ)	【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
	漢字に親しもう	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ)		【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ)	【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。

国語科年間指導計画・評価計画（1年生）

7月	詩の世界	【知・技】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ・比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	比喻で広がる言葉の世界	【知・技】比喻などの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	【態】進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	言葉1 指示する語句と接続する語句	【知・技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を 目ざして	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
	読書を楽しむ	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)		【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
	本の中の中学生	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
	季節のしおり 夏	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
9月	大人になれなかった弟たちに……	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
9月	星の花が降るころに	【知・技】比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ)	【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
9月	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	【態】進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
	項目を立てて書こう 案内文を書く	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明	【態】集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書くようとしている。

			確にしている。(B(1)ア)	
	[推敲]読み手の立場に立つ	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	【態】粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
10月	言葉2 方言と共通語	【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	漢字2 漢字の音訓	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン2 原因と結果	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)		【態】今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	【態】文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
	漢字に親しもう	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		
	[話し合い] 話し合いの展開を捉える	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
11月	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
	音読を楽しもう 大阿蘇	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

国語科年間指導計画・評価計画（1年生）

	季節のしおり 秋	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	【知・技】 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ)		【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って 体験文を書こう	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
12月	「不便」の価値を見つめ直す [書く] 根拠を明確にして、意見をまとめよう	【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	【態】読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	漢字に親しもう	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉2 言葉の関係を考えよう	【知・技】単語の類別について理解している。((1)エ)		【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	考える人になろう	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりする	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づ	【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすること

	君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を 広げよう	ことに役立つことを理解している。(3)オ)	いて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	に役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	季節のしおり 冬	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1月	少年の日の思い出	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	漢字に親しもう	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	随筆二編	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ)	【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2月	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	言葉3 さまざまな表現技法	【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ)		【態】積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。

国語科年間指導計画・評価計画（1年生）

	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3月	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	【知・技】 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。
	さくらの はなびら	【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。
	学習を振り返ろう	【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ・共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。